

モビリティ研究会

モビリティの先にあるものを上智ならではの文理融合視点で考える

モビリティに関するフレームワーク

レイヤ	テーマ (例)
哲学のレイヤ	哲学, 宗教学, 個人の生き方, クラフトマンシップ
社会のレイヤ	アフターコロナの世界, SDGs, 国際関係, 法律, 社会学
経済のレイヤ	グローバル経済, 国際競争, 産業育成, サプライチェーン, 富の再分配, 企業経営 (意思決定, リスクのとり方, スピード経営), 人材活用, ベンチャー育成, 土壌作り
モビリティのレイヤ	
ひととの関係	交通安全, 旅行, 移動, 運転する楽しみ, 思い出, 介護
心理	欲求, 夢, 趣味, 嗜好, ステータスシンボル, 楽しい
社会との関係	所有したい, 公害, 必要性
ユースケース	自動運転, 遠隔運転, 自動駐車, 隊列走行, 緊急停車, 交差点支援
コンセプト	Connected, Autonomous, Shared, Electric, Coordinated
要素技術	電気, エネルギーおよびその生成法, V2X, 車内ネットワーク, センサーフュージョン, ECU, AI
標準化・法整備	国際・国家・業界標準, 安全規格, 政策, 法律
上智大学のレイヤ	夢を描き, 価値を作り出す。実験をしてみる。

[研究会発足の背景]

- AI、移動体通信、クラウドなどの要素技術の進化に伴い、これからの自動車は過去 134 年の発展の延長線上から外れた進化を遂げると見込まれている。
- しかしながら、既存の企業における活動の大部分は自らの専門分野の世界においてこれまでの文脈での進化の効率改善にエネルギーの大半を注ぐあまり、これから生み出していかなければならないビジョン構築が置き去りにされがちである。大学も同様の問題を抱えているのではないだろうか。
- このような課題を解決の一つの足掛かりとして、理系、文系の知が集積する総合大学という場を活用し、知の最先端の大学の先生方、フレッシュな発想と今後の社会の主力になる学生、ビジネスの最前線で活躍する(した)OB会、が一緒になってモビリティというこれから大きな変革期を迎えるテーマについて検討していく場を設けたい。

開催方法: 第 1 土曜日午前, ソフィアンズクラブ対面とオンラインの交互に開催。

対象: 上智関係者 (教職員, 学生, OB, 学部不問)

連絡先: 濱畑, 宇野